

## 児童発達支援

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズケアホームにこびあ

公表日 令和7年2月21日

18世帯配布/13世帯回収

利用児童数 回収率72%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1			・活動スペースはあると思うが駐車場がせまかったりほほえみの事の出入りが怖いことがある・室内のスペースが狭い	・指定基準はクリアしていますが遊びによっては手狭な時もあります。十分に体を動かすことができるように戸外活動も計画していきたいと思ひます ・限られた駐車スペースへのご理解・ご協力ありがとうございます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13					・国の基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。今後も専門性を維持できるよう努めていきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					・車いすや肢体不自由児のお子さんも安心して活動ができるようにバリアフリーになっています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	3			・床に髪や砂がおちていてザラザラしている	・朝礼前、昼食後、療育終了後、と掃除を行い次亜塩素酸ナトリウム水溶液や重曹アルカリ水を使用し教材、机、椅子、ドアノブ等の消毒を行い清潔さと心地よさの維持を心掛けています
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					・個々の発達段階や特性、ニーズを職員間で共通理解に努め安心して過ごすことができる配慮、手立てを支援に繋げています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				・今年度より支援プログラムを公表しています。当事業所の支援内容と支援プログラムはガイドラインに沿って作成・実践をしています
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					・日々の生活や活動場面での観察、発達検査の報告を通じて子どもの成長・発達、本人のニーズを含めた支援計画を作成しています
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					・当事業所の個別支援計画は児童発達支援サービスのガイドラインに記載されている提供すべき支援に基づき「本人支援」「家族支援」「移行支援」をお子さんの発達状況を踏まえた上で必要な事項を選択、支援計画に組み込んでいます
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					・支援内容や支援の振り返りを日々行っています
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1				・日案を立て様々なあそびを設定し活動を行っています
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	1	4		・今年度は地域の保育園との交流と一緒に漆喰アート作品を制作しました。今後も地域の中で一緒に関わられる機会を計画していきたいです
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					・運営規定の内容を踏まえた重要事項説明書、契約書を使用し説明をしています。支援プログラムについてはホームページ上で公表しています
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					・個別支援計画を提示しながら支援内容について説明をし同意のサインを頂いています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13				1	・火曜日以外にも親子通園可能な日があるといいな ・外部講師による講話等があると保護者の学びになるかもしれません
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13					・送迎時や面談の際に活動での様子を口頭やお帳面等で共有しています。共に生活する中で変化に気づける視野を持ちお子さんの状況把握に努めています

事業所名	キッズケアホームにこびあ
------	--------------

公表日 令和7年2月21日

18世帯配布/13世帯回収

利用児童数 回収率72%

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			・定期的な面談はもちろん毎週の親子通園時に日頃の様子や助言をもらえるのでありがたい	・定期的な面談を設定しています。日々の共有や個別支援計画を元に支援の振り返り・保育所等訪問での報告や子どもたちの頑張りを共有しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					・本人支援はもちろんのこと、家族支援も含めた丁寧な支援を心がけています。困った時はもちろんのことそうでない時も思い出してくれる人であり事業所でありたいと願っています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1	1		・兄弟向けのイベントがあるのかわからない	・兄弟向けのイベントとして設定はありませんがクリスマス会や進級おめでとう会への参加は可能です
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10		1	2		・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるように努めています。苦情・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明をしています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					・一人ひとりの発達状況に応じてコミュニケーション手段を検討しています。その日の活動の流れ等は黒板にて掲示し安心して活動に参加できる工夫をしています。全体でのことにはこびあ便りやグループLINEでの周知や個別に配慮した情報を提供しています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13					・月1にこびあ便りを発行しています。自己評価の公表はホームページとこびあ玄関入口にてファイルにて公表しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					・今後も個人情報の取り扱いには十分に気をつけ守秘義務を徹底致します
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13					・マニュアルを作成していますが詳細についての周知不足を感じます。年度初めの保護者会等で周知できるようにします。保護者を含めた緊急時全体訓練は年に1度行っていますので今後も継続していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			1		・避難訓練は毎月1回計画・実施しています。こびあ便りにて周知をしています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					・安全計画に基づいて行われていることについて保護者の方への周知不足でした。より分かりやすい周知方法を検討します
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					・安全計画に基づいて行われていることについて保護者の方への周知不足でした。より分かりやすい周知方法を検討します
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				・子どもたちが楽しく登園しておりいつも感謝しております	・子どもたち一人ひとりが安心・安全に過ごし心と身体の成長につながる丁寧な支援を心がけます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				・玄関までいくとあっという間に中に入って遊びだすほど楽しんでいます	・子どもたちが安心・安全に通所できるように今後も楽しいわくわくする活動を計画していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・親身になって子どもだけでなく家族への支援があり心から感謝しています	・今後も支援者としてのスキルアップを図り子ども達へよりよい支援をすることができるチームにこびあを目指します

児童発達支援

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズケアホームにこびあ
------	--------------

公表日 令和7年 2月 21日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・長期休み等では限られたスペースでの活動になるので活動の工夫をしながら安全に配慮して実施している ・職員同士が連携を図り適切なスペースを確保しながら活動を行っている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもの人数に対しての配置基準は満たしているがより丁寧な支援を求めたいときには増員をし子どもたちが満足した活動ができるようにしています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・児童が分かりやすい構造化、提示物をなるべく減らし必要な情報のみに環境を整えています。車いすやバギーでの来所時の雨に濡れることなく施設に入ることができバリアフリーになっています。壁の構造を「Rシステム」を導入し安全に配慮した構造にしています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・限られた空間の中で出入りや換気の為窓の開閉があり室内にほこりがたまりやすくなっているため清掃を数回に増やしています	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別に対応できるお部屋があります	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の(わくわくプラン)指導案作成から振り返りまでを全職員が共有して関わっています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様のご意見を大切にシミーティングで周知し共通理解・業務改善に努めています	・委員会活動の活性化も兼ねて業務改善委員会を中心に把握・改善策を見立て取り組んでいけるようにしていきたいです
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・半年に1回個別で面談を行っています。また業務改善委員会を中心によりよい支援につながるために模索しながら進めています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在は利用者ご家族と事業所の評価のみとなっています。第三者委員会の実施については今後検討課題としてまいります	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・事業所内研修、外部研修へ積極的に参加を質の向上を高めるよう努めています また研修は毎月実施しており職員が参加できる機会を設けています ・朝のミーティングを活用し(医療カンファ・リハビリカンファOT PT ST)を実施、多職種連携も構築して質の向上を目指しています	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	・2025年2月に支援プログラムをホームページに公表しております	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・健康・生活 運動・感覚 認知 行動 社会性 言語の項目に分け特性やストレンクスを分析しニーズや課題を整理して目標や支援内容を作成しています	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・日々の療育の振り返りを実施し、職員間で共有できるツール(業務日誌)や個人のカルテに記載、記録に残しています	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・中間評価等複数の職員で行い日々の支援の振り返りを行いながらアセスメント・評価をしい支援計画の共有をしています	

事業所名		キッズケアホームにこびあ			公表日	令和7年 2月 21日
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシート、保護者、本人そして相談支援専門員の方からの情報と日々の様子の実態把握をし必要な支援に繋げています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・今年度より5領域を全利用者さんの支援内容に盛り込んで計画を作成しています。 その他に家族支援・移行支援・地域支援・具体的な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・過去の実践したプログラムを振り返りながら活動プログラムが固定化しないように工夫をしています・月案・日案を立て子どもたちの実態に合わせた活動プログラムをチームで行っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・過去の実践したプログラムを振り返りながら活動プログラムが固定化しないように工夫をしています・療育後の振り返りでは子どもたちの反応や遊びの内容・支援について検証しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・お子さんの実態に合わせて一人ひとりに合わせた対応や支援を行い言語療法による個別支援と小集団での活動を計画しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝朝礼時に利用人数やその日の活動・ねらいと支援内容、配慮すべきことを周知し職員間で共有しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日の振り返りを毎回行い支援の方向性を統一できるように共有しています ・お休みの職員へも業務日誌へ記載して記録に残しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個人カルテへ個別の姿を記録します。SOAPを意識した記録、必要な情報を残せるように心がけています（主観的情報・客観的情報）	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回支援計画を元に中間評価を行い支援内容の確認、要望や必要な支援を見直しを行っています	
関係機関や保護	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主に児童発達支援管理責任者や個別支援で関わりを持つ言語聴覚士が出席している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の保健師による検診等で療育の必要性があると判断されたお子さんの見学や連携がスムーズに取れています。同事業所での訪問看護ステーションから療育につながるケースの体制も整っています ・地域の中で医療的ケア児への療育ができる施設と認知されているため小児科医からの事業所へ相談・連絡を受けることもあります	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問支援事業を通じて実際に現場での本人支援や間接支援を行い情報共有や支援目標のすり合わせを行いチームで子どもたちの育ちをサポートしています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・入学予定のお子さんの見学に来所される学校もありました。情報提供書を作成し併行先の保育園・幼稚園とまとめてお渡しできるように作成しています。必要に応じて学童クラブへも情報共有させて頂いています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				

事業所名	キッズケアホームにこびあ			公表日	令和7年 2月 21日
者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			・年に6回そだちサポートプロジェクトに参加をし事例検討会や研修会にて鹿児島大学臨床心理学研究科の先生に学ぶ機会を設けています
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・今年度1回のみではありましたが地域の保育園との交流を行い「漆喰でアート」の交流活動を行いました
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・定期的な面談はもちろんのこと、送迎時に保護者とのコミュニケーションを大事にうまくいった関りや困り感への対応等情報共有する機会を作っています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントトレーニングの島内研修開催の案内を保護者へ周知しています。また保護者との面談や母子通園時に保護者の思いや要望に丁寧に傾聴をし必要な支援・アドバイス、勉強会への情報提供を行っています	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に丁寧に説明を行っています
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別支援計画を掲示しながら説明を丁寧にすることを心がけています
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・兄弟支援についてもニーズを感じることが多いです。必要な支援が提供できるように心がけています。必要に応じては早急に対応できるように各関係機関との連携も迅速な対応を心がけています
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者会役員さんによる保護者会便りを作成配布して頂きました。参加できなかった方にも周知することができ感謝です
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者の方には契約時に需要事項説明書に記載していることを周知しています。子どもたちからの発信を真摯に受け止め傾聴することを心がけています。また記録に残して情報を共有することやその後のフォローもできるように努めています
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・月に1度にごびあ便りを発行しています。写真にて活動の様子・活動日程を周知しています
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・職員間でも意識が高く事務所への工事・点検等関係者以外の方が入室する場合個人情報となる物には目隠しを十分気をつけています
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・職員間でも意識が高く事務所への工事・点検等関係者以外の方が入室する場合個人情報となる物には目隠しをするなど気をつけています
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・意思疎通が難しい場合は絵や写真などを使用したり、保護者への支援としてはご家族の中のキーパーソンとなる方に立ち会って頂いたり、お帳面等はひらがなで対応する等配慮をしました	

事業所名	キッズケアホームにこびあ			公表日	令和7年 2月 21日
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・すべてのマニュアルを作成・周知しています。月1回想定した訓練を行い保護者参加の訓練も年に1度実施しています
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・BCPIにそった研修・訓練を実施しています。また定期的にマニュアルの見直しも行いながら避難訓練を行っています
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・利用開始時に服用されているお子さんの把握をし定期的に面談等で随時服薬の状況把握を行い確認作業を行っています。また緊急時の判断・対応等の確認をも保護者の方で行っています
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用開始時に服用されているお子さんの把握をし定期的に面談等で随時服薬の状況把握を行い確認作業を行っています。また緊急時の判断・対応等の確認をも保護者の方で行っています
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・安全計画を作成し必要な研修や訓練等も行っていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき感染症等についての注意喚起は分かりやすく掲示板に周知しました
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・リスクマネジメント委員会が中心となってヒヤリハット事例を活かし安心・安全な活動ができるよう心がけるとともに危険予測力を向上できるように共有しています。また事例検討をする中でスタッフ間のリスクへの意識を高める工夫をしています
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・外部研修、事業所内研修を実施しています ・虐待防止運営委員会を定期的に開催、その都度協議しています（必要に応じてチェックシートをつけて評価しています）
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止運営委員会を定期的に開催しています。身体拘束の適正化の為、指針を作成・掲示し周知をしています
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・虐待防止運営委員会を定期的に開催しています。身体拘束の適正化の為、指針を作成・掲示し周知をしています

## 児童発達支援・放課後等デイサービス

## 事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	キッズケアホームにこびあ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		～	令和7年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日		～	令和7年1月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援・放課後デイサービス・保育所等訪問事業の多機能施設で切れ目のない継続した支援ができること	・移行支援では早い段階(2年前)から就学時親の会への参加や学校(学びの場)の情報提供を行い安心して移行できるように保護者、各関係機関との連携を大事にしている	・幼児期・学齢期の支援のアプローチが異なるため学齢期・思春期の心理的变化の理解を深めていくこと
2	親子通園を行うことで保護者の仲間づくりや関わり方や声かけのコツを遊びを通して学び育てに対する不安や困り事を相談できる場であること	・療育での実践と一緒に関わりお子さんの良い所や頑張りと一緒に見つけられるような声掛け・遊びの意味づけ、目的を伝えられている	・希望の曜日にいつでも親子通園に参加できることへの周知不足を感じるのではの広報していくこと
3	・専門職が揃っている(保育士・看護師・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士)による専門的な支援を行うことができ医療的ケア児の受け入れを行うことができること	・看護師、言語聴覚士が常駐、個別療法、小集団での関わりを持ち必要なケアを受けながら発達支援に繋げることができる ・同事業所に訪問リハ職員(作業療法士 理学療法士)による身体アプローチ等お子さんに必要な支援を共有することができる	・定期的なカンファレンスで情報共有したことを元に、職員研修のテーマに掲げ知識の向上と実践に繋げていくこと

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の子どもたちとの交流する機会が少ないこと	・今年度は地域にある保育園さんとの交流の機会を設けることができたが定期的な計画への実施にいたっていない。1回のみではなく交流を深められるように連携をとっていくことが必要	・児発・放デイと関係する並行通園先の保育所等へのニーズを伝えていくことが必要かと思われる ・地域での交流の場が当たり前になるように各関係機関との関係性、事業の取組等の周知をしていくこと
2	・保護者主体の活発な保護者会へ向けて	・保護者会の魅力のアピール不足	・コロナ渦移行つながりの輪の大事さを改めて痛感している保護者を巻き込んでいくには目的をもったまなびの場や気兼ねなく安心して話することができる仲間づくりを行事を絡めて繋げていくことが必要
3	・想定した避難訓練は計画・実施をしているがそれぞれのマニュアルについて(安全計画・事故防止・緊急時対応・防犯・感染症マニュアル)についての周知不足を感じる	・契約時にマニュアルについても周知・説明をすることや、毎月の避難訓練の実施報告もにこびあ便り等を活用しながら報告まで行う	・委員会活動を中心に現在避難訓練などの実施報告や写真をとり記録に残しきちんと周知する等できることから取り組んでいく